

学発番号: 学18-044  
事業名: 臨床化学免疫血清研修会  
日時: 平成30年11月27日(火)18:30~20:00  
場所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室  
主題1: 現場で役立つ!!今さら聞けない免疫検査の基礎 ~乖離・ポカ値・非特異反応~  
講師1: 荻原 貴裕 氏(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社 DX事業本部)  
参加数: 総数 9名(京臨技会員: 8名)  
報告者: 岡崎 一幸(京都大学医学部附属病院検査部)

以下、講演内容など

今回は、免疫学測定法におけるピットホールとして、「乖離・非特異反応・ポカ値」について講演をしていただきました。項目によって相関が良かったり悪かったりするのには測定対象物質の多様性にあることが要因であり、一次標準物質の有無も関係してくるとのことでした。

非特異反応については、使用している抗体の種類(モノクロ・ポリクロ・動物種など)や測定系でどのような標識物質を使っているかも非特異反応の要因の一つになるとの事でした。ポカ値に関しては対象物質の分布や試薬の濃度によってポカが起りやすい項目と起りにくい項目が

有ることを解説していただきました。免疫検査における注意点について改めて復習が出来た有意義な研修会となりました。